

○タウンミーティング議事録(概要)

日 時:令和3年10月16日(土)

午前10時から午後11時50分まで

場 所:大山地域市民センター ホール

出席者:17人

テーマ 第2次富山市総合計画後期基本計画(案)について

【テーマの説明に対する質問】

・私は総合計画の審議会の方にも参加しており、私どもの思いは審議会の方で伝えていますが、まだ具体的なところが審議会で審議しても出てこないということで、残念に思っている部分があります。

関連して、藤井市長は当選されたときに、合併検証をしますと言っておられたことを覚えています。平成17年に市町村合併して、かなりの時間が流れましたが、合併して、大山地域の皆さんも含め皆さんが、我々のところにメリットが回ってこないという思いを持っていると思うので、ぜひ合併検証を早くして、今の総合計画の中に反映されていかなければならないと思っております。

そういう中で、先ほど人口減少のことについて詳しく説明がありましたが、中山間地は人口減少が急激に進んでいます。富山市は、昔は田舎臭いまちだと思っておりましたが、コンパクトシティのおかげで本当に素晴らしい誇れるまちになったのではないかと思います。しかし、その分だけ中山間地が疲弊してしまっているのではないかと、ぜひこの合併検証の中で明らかにしていただきたいと思っております。

富山市は、合併前と現在の人口を比べると約9000人の減に留まっています。ところが、私の住んでいる小見地区は、合併前に257戸、814人いたものが、今年の3月末には20%も減っています。富山市全体の高齢化率は29.8%というデータを示されまし

たが、最新のデータを見ると30%を少し超えたところです。富山市全体も高齡化率が上がっていますが、私どもの中山間地は 50%を超えているエリアが多い。小見地区では高齡化率が 56%にもなります。人口を増やすということは全国的な課題として非常に難しいところですが、まずは中山間地における活性化を図って、人口増に少しでもつなげることが重要ではないかと思います。総合計画の中ではぜひ、そういうようなことを盛り込んでいただき、私たちも意見を述べていきたいと思います。

(市長)

私の選挙戦では「幸せ日本一とやま」を目指す。そして、市長になったら合併の検証をするということを約束しました。現在、その検証をどのように進めていくかも含めて指示していますので、皆さんに早くそれをお披露目できるといいと思っています。

また、合併を検証した上で、至らない部分も含めて総合計画に位置付け、生かしていくことが必要であると思いますので、そのような目線からも総合計画に反映させることなどについて、調整させていただきたいと思います。

人口減少は、都市部、中山間地域を含めてすべてにおいて進行しており、中山間地域は特に、過疎に加えて高齡化が進んでいます。この大山地域の中山間エリア、細入、山田、八尾、大沢野にも同じような地域があり、この様なところをどのように活性化させていけばいいのかというところは究極の問題だと思います。

一つは交流の人口を増やす、関係人口を増やしていくということも大事です。そのため今、ICTの技術を使って、富山市のどこにいてもオフィスで仕事ができるような環境を一部整えていくことも進めたいと思います。

もう一つは、やはり中山間地域の特色、今あるものを生かしていくことが大事だと思います。民間企業なども含めて、その地域の観光や産業など今ある資源を使ってできるように、これは地域の方々のご協力も必要になってきます。

将来、若者がそこに住んでみたい、そこに遊びに行ってみたい、週末はそこに行ってみないと、東京に住んでいても、こちらで趣味や仕事をして週末は東京に帰るとか、

そのような生活をする場所に選ばれるような地域にしていきたいという思いもありますので、また話をさせていただければと思います。

・有害鳥獣について、先ほどの説明では、減っているという話でしたが、市全体ではそうかもしれませんが、どこで何が起きているか、よく知らないのが現状じゃないかと思います。特に私が言いたいのはサルです。私も 30 年ほど畑作業をここでやっています。最初はこの上の方にあり、その時もサルは出ましたが爆竹を鳴らしたりすれば、退散してしまう状態でした。しかし、中山間地の人がそこを離れていくと、サルのえさがなくなるからなのか、食料を求めて食料のあるところに降りてくると。最近では、この行政サービスセンターのところにもサルが来ます。サルが来るのは 6 月の終わりから 7 月、10 月半ば頃からで、集団で来ます。上滝小学校のグラウンドの桜の木に集団で登っていたり、県道でひき殺されたということも聞きました。まちの中では珍しいかもしれませんが、このサルは、しょっちゅう来ます。安全で暮らせるようにという目標もあったと思いますが、このサル被害を何とかしてください。電気柵や電動エアガンもありますが、このような実態であれば、個人ではなく地域の人たちにも呼び掛けて何か対策するような方法が必要です。おそらく日本中でそのような被害があるということなので、他地域のうまくいっている方法をぜひ、住民に知らせて欲しいと思います。

今この地域は新しい建物を建てて、まちを一つに集中して何かしようとしていますが、サルが頻繁に出るようでは駄目だと思いますので、申請してサルを駆除する。この地域ではそのような方法を考えてもらいたいと思います。おそらく細入や山田の人も同じような認識を持っておられる。ここは安全じゃないから都市部に行こうかというような発想にもつながるかもしれませんが、被害が減っているのではなく、特定のところでは被害が深刻化しているということを理解して対策を考えて欲しいです。

(市長)

確かに地域を回っていると、サル被害は大山、大沢野、細入、特に神通峡近辺はひど

いと認識しています。被害額が減っているというのは、(被害を)届けていない方や家庭用の菜園など出荷用の畑じゃないところが多いので、なかなか数字になって表れてこないというのも、そのとおりです。サルにつきましては、なかなか殺処分できないという話もお聞きしましたが、どうい方法がいいのか、猟友会の方々も含めて、鋭意、詰めていきたいと思ひます。このサルの問題は富山市も本当に困っています。電気柵も乗り越えてきてしまいますので、個体を減らすということが一番根本的な対策になるのかもしれませんが、そうなると、それにまた大反対される方々もたくさんいますので、どのように皆さんのご理解を得ればいいのか、持ち帰って検討したいと思ひます。またご意見を寄せていただきたいと思ひますので、よろしくお願ひします。

・西番斎場を同じところに建て替えされていますが、コンパクトなまちづくりで主要施設を中央部分に持って行くというのに、なぜ西番斎場を持って行かなかったのでしょうか。まちの整備されたところに持って行けば問題ないと思ひます。大山地域は合併の時に都市計画の道路整備計画がありましたが、いつの間にか消えてしまいました。大山地域ほど道路が不便なところはありません。特に横の繋がりには迷路のよう道を知っている人でないと走れません。新婦広域農道というのはごみ焼却道路ということで山田から立山町まで整備されましたが、大山地域は未だに整備されていません。また、なぜ役場の建て替えや文化ホールの廃止が必要なんのでしょうか。今あるものを有効に使えばいいのではないのでしょうか。最初に合併協議で決まっていた上滝周辺の道路整備をして、山沿いにずっと立山町に抜けて、特に新婦広域農道周辺の道路整備、例えば、合併の時に国際大学のところに道路を作ったわけですが、消防署のところまで 300 メートルほどしかない、それをつなぐだけでかなり利便性が違います。そういうこと考えながら直してもらいたいです。

それともう一つ、瓶岩橋はなぜ通行止めになっているんですか。説明してください。瓶岩橋は昔からある橋です。常願寺流域の道路というのは、すべて水力発電関連で整備された道路です。今も水力発電設備の維持管理道路でもあります。有峰、大山、高山

とスーパー林道も整備され、岐阜県側は奥飛騨温泉まで繋がっていますが、スーパー林道の出入口をふさいだままで大型車が通れなくなっています。富山県と県外との連絡道路というのは非常に少ないんですが、有峰のスーパー林道はそういった幹線道路の一部として非常に大事な道路だと思います。それは大山地域の地域振興にもなると思いますし、そのような面を考えて、早急に整備してください。

合併協議で決まっていたとおり、対等合併ということで対等に整備してもらえるように十分に考えて欲しいと思います。

(市長)

一つ一つに細かく答えることができませんが、大きな方向性だけ答えさせていただきます。

今、瓶岩橋は富山市の中でも、橋の維持管理、あるいは撤去するといった話の中で象徴的なものになっています。それは電源開発のために作られた歴史のある橋であり、皆さんが愛していた橋であることも十分、認識しております。しかし、今の瓶岩橋の破損状況は、修復して再度通行できる状態ではありません。修復不可能ということで、改めてここに橋を復元する時には撤去して、新しく掛け直すという形になります。

現在、富山市は橋の修復に年間約 20 億円かけていますが、ここ数年は 20 億円を準備できず、残念ながら修復は遅れ遅れになっています。富山市全体で 2200 の橋を管理していますので、35 年後には約 250 億円かかるということになります。ということになると 35 年後には、富山市の土木の予算を全て橋に使っても、まだ全部の橋を管理できないという状態になります。このような会館もそうです。今おっしゃったように、大事に使えば、これほどいいことはないのですが、年数が経つと、耐震の問題など、建て替えて新しく更新する以上に維持管理にお金がかかってしまい、トータルで考えると、複合化して新しいものにした方がこれから育っていく子どもたちや今の住民の皆さんにとって必要な施設になってくのではないかという考えの下、やっております。

それと、人口が減る、働き手が減る、そのような中で、富山市も様々な産業誘致をしていますが、中心市街地、旧富山市からの税収が約 8 割、旧町村からが約 2 割、正確に

言うと18%、中心市街地から82%の税収を得ています。ところが、実際にその税収を使っている先というのは、旧町村に25%、旧富山市には75%しか使っていないということで、中心市街地を活性化することで得た税収を財源として郊外に使っているということをご理解いただきたいと思います。

また、先ほど申しましたとおり、人口が減っているということは税収も普通に考えれば減っていくということでもありますので、そうしたときに、すべての施設は残していけないということだと思えます。

新婦広域農道の話もされましたが、当時の経緯はよく存じ上げませんが、現在、大沢野や大山や婦中には住民の反対によってできていない道路がたくさんあります。そしてその道路は十数年たった今、新規に作ろうと思っても財源がないわけです。国にも県にも市にもどこにもない。全国がこの状態になっているんです。今ある本当に必要な道路を改良して欲しい、これは本当にそうだと思います。ですので、一緒に考えさせていただいて、本当に必要で直さなければならぬところにお金を入れて、直していきたいと思っています。今、市の管理する道路の全長が3,115キロあります。これ以上延長するというのは、なかなか難しい。道路の維持管理にも同じようにお金がかかります。

今まで住民の方々とオープンに話し合いをするという場はなかなかなかったわけですが、今のような疑問やお怒りもたくさんあると思いますので、これからは、内情はこうです、今後どうしていきましょうか、ということのご理解を得ながら、丁寧に進めていきたいと思っています。全部が全部はできませんが、これからもまたご意見をいただければと思います。

・(大山地域の)新規複合施設の場所ですが、これは現在の文化会館の場所でしょうか。私の持っている令和2年3月のリーディングプロジェクト基本計画の中には、こちらの方(行政サービスセンター側)に建てるという案が出ていました。文化会館の場所は地すべり地帯なので、被害の少ないエリアの大山行政サービスセンターの方に集合施設を作るという案があったはずなんです、これは廃案になったのでしょうか。

(企画管理部長)

平成 30 年度に大山地域において、住民の皆さんと公共施設の再編についてのワークショップを開催させていただきました。その時の案では、行政サービスセンターから上滝線を挟んだ旧大山文化会館、あのエリア一带に新しい複合施設を作り、その周辺に新しい新駅(上滝駅)を作る。そしてなおかつ商業機能も今の図書館あたりに持って来るというのが、当初のワークショップを踏まえての案でした。

しかし、その後、住民の皆さんの意見を反映した地域別ワークショップでそういった案を作りましたが、一つには、かなり勾配があり、新駅をあの場所につくるというのは技術的に難しいということ、それから、大山地域にはスーパーなどありませんので商業機能をその複合施設の余剰地に持ってきたいというようなことで計画をさせていただき、いろいろ民間事業者へのサウンディングなど調査した結果、なかなか商業進出が難しいというような結論に至ったこと、そしてまた地元の方でもいろいろな案があり、やはり現在のこの場所では、駐車台数や除雪体制を考えたときに狭いため、旧大山文化会館周辺の方がいいというご意見も強くあったことから、議会等でも表明させていただき、地元の皆さんにもご案内をさせていただいて場所を変更させていただいたものです。

今ほどご指摘の県指定の急傾斜地、いわゆるイエローゾーンになっておりますが、レッドゾーンの場合は、住宅などの建物は一切建ててはいけないのですが、イエローゾーンについてはそこまでの規定はないということで、対策等をしっかりとること、あるいは避難経路などをしっかりとることによって、建築は可能だということでした。先ほどのパース図でご説明したように、なるべく、今の大山文化会館から離れた駐車場側、いわゆる線路側の方に寄せて建築をするとともに、図の中にあつた公用車の車庫、これはかなり強固なもので、万万が一に、もし、崖地の崩落があつたときでもしっかり食い止めるような機能を持たせた車庫等を整備するということを考えております。そういったことから、場所の変更は、今ほど申し上げたことを理由として、急傾斜地対策についても一定程

度考慮した配置ということにさせていただいたところです。

また、この大山行政サービスセンターと大山地域市民センターの跡地には、一部民有地もありますが、地権者の方のご同意も得た上で、令和5年の春に複合施設ができた後、ここを解体し、ドラッグストアであるウエルシアさんがここに整備される予定です。当然、ドラッグストアということで、調剤薬局、いわゆるお医者さんの処方に基づいた薬剤師さんが常駐していて処方せんの受付であるとか、それから生鮮食料品、肉や野菜など、いわゆるスーパーに近いかなり店舗の大きいドラッグストアを整備されるということです。なおかつもう一つ申し上げますと、前は大山地域に「よってかれ家」という高齢者の方のサロンがありましたが、今ご説明したドラッグストア内には、地域貢献ということで、そうした地域の方、高齢者の方が集い、いろいろな活動ができるスペースも整備されるというご提案も受けていることから、従来大山地域になかった日常生活機能などが複合施設と一体となって整備されると考えています。

・健康診断のバスや学校の送迎バスが来るのですが、そのような大きいバスなどが入りやすいような設計になっていますか。

(企画管理部長)

今ほどおっしゃられたようないわゆる中型バスなどの駐車あるいは送迎用に巡回できるようなことも考慮したような形で設計をされておりますので、それは大丈夫だと思います。

・コンビニの横の踏切しか出入りするところがないのに、鉄道の向こう側にそういうものを建てて、鉄道を渡らせるような危険な計画をなぜしないといけないんですか。

(自治振興会長)

・住民の皆さんからは様々な意見があり、まず生活に不便なのはスーパーの機能がな

くなったということです。そしてまた「よってかれ家」も閉鎖してしまったということで、私も地域の声を広く吸い上げた結果、ここに商業施設を開設したいと。そのために、向こう（旧文化会館側）に商業施設を作ろうとしましたが、それもまた線路を渡るという意味で言うと、高齢者が運転した車であれば、こちら（行政サービスセンター側）の方がいいということもあり、順序を考えると向こうに公共施設を作って、商業施設をこちらというようになっているわけです。

それから今の駐車スペースにつきましては、具体的には知りませんでしたが、またいろいろと皆さんの声も行政に伝えていきたいと思えます。そういうことでご理解をいただきたいと思えます。

・中山間地の問題で、県は既に、地方創生局の中に中山間地対策室という課を作っています。ぜひ市の方でも、具体的な部局を設けて、真剣に取りまとめをお願いしたいと思えます。

それから、昨日、学校の再編についての発表がありました。新聞を見て驚いた部分もあります。ただ想定した範囲だったかなと思っておりますが、これも案であって、地域とよく相談してというように書いてありましたので、これから私たち地元の声をよく聞いていただいて、皆さんの合意のもとに合併を進めていただきたいと思えます。

また、このタウンミーティングは非常に良い企画なので、今度1年後ではなく、半年に1回ぐらいは大山の方でも開催していただければと思えます。

(市長)

ありがとうございます。

・合併の検証をするということですが、富山から来る道やライトレールも中止になり、瓶岩橋も作らない。お金がないと何もできない、そう言われれば終わりなんですが、再構築、再検証して、またやるということもできるということですか、それとも幕引きですか。

(市長)

そういうことも含めて、検証を進めていきますので、ここでそれに詳しくお答えすることはできませんが、そのような住民の皆さんからの意見があるということは、今日承りましたので、しっかり持ち帰って、様々な判断の材料にしたいと思います。まだ、これはこうですということとは言えません。

※発言の一部を整理して掲載しています。(広報課)